

近畿農政局 デジタル消費者の部屋

(テーマ)

外来カミキリムシから 花咲く春を護る

展示期間

令和5年6月8日(木)～7月25日(火)

展示場所

近畿農政局1階「消費者の部屋」展示コーナー

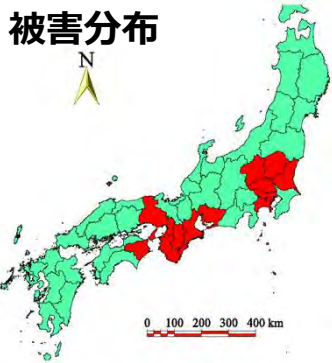


(R5.6.8～7.25 展示データ)

クビアカツヤカミキリ 被害発生状況と、サクラの樹を護る方法

特定外来生物 国内での被害発生状況

被害分布



2011年 埼玉県で成虫を採取
(国内初確認)
輸入梱包材に幼虫が穿入した
状態で侵入したと推定
2012年 愛知県で樹木が枯死
(国内初被害)
2018年 特定外来生物に指定
2022年現在
13都府県で被害確認

被害樹種



その他、スモモ、アンズなどのバラ科樹木

被害様式

- ・5月半ばから10月まで、幼虫がフラス(木屑+糞)を排出する
- ・被害樹の幹は、数年にわたり連続的に産卵・穿孔加害を受け
数十を超える成虫が羽化した後に枯死する



↑ 樹皮下の幼虫が排出したフラス
材に穿入した幼虫が排出したフラス



クビアカツヤカミキリの一生

(2年から3年に一度、成虫になる)



防除法(1) 伐倒



最も確実な方法
ただし、プロに依頼要

- 上部から伐倒・玉切り
- 成虫脱出期(5月下旬から8月)を避けて実施。
- 伐根にも幼虫がいることが多いので、シーリングや剥皮等の処理を施す。

防除法(2) 成虫捕殺



出来る方法
ただし、コツが要ります。

- 防鳥ネットを樹幹に巻き付け、こまめな見回りで捕殺。
- 羽化した成虫が網の中で交尾産卵するので注意



防除法(3) 幼虫駆除



出来る方法
ただし、コツが要ります。

- ① カミキリムシ用の殺虫剤スプレー(ノズル付き)を用意
- ② 排糞孔から幼虫孔道内のフラスを千枚通しとブラシで除去
- ③ ノズルを差し込み薬液を注入

防除法(4) 樹幹注入



プロに依頼

- 幹の地際にドリルで穴をあけ、その穴から薬剤を注入
- 全体に行き渡らせ、まとめて駆除
- 枯れてしまった部分は、薬剤が移動しないことに注意



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 関西支所

ご用心!
クビアカツヤカミキリはすぐそこに

WANTED



BEAUTIFUL SPRING, YUMMY SUMMER

外来種クビアカツヤカミキリが、日本のあちこちで、春を彩るサクラ、モモ、ウメを食い荒らしています。どうしたらこの虫から身近な木を守っていけるでしょうか。知ることは最大の守りです。このリーフレットでどんな虫なのか、見つけるにはどうしたらいいのか、見つけたらどうしたらいいのかを説明いたします。



クビアカツヤカミキリコンソーシアム
代表機関 国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所

〒305-8687 茨城県つくば市板の里1番地 E-MAIL sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp

クビアカツヤ
カミキリが
食べる木

クビアカツヤカミキリはバラ科の樹木を食い荒らします。バラ科のうち日本国内で本種による被害がみつけたのは、モモ（ハナモモ含む）、ブルーノ、ウメ、スモモ、アンズ、サクラ（ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤマザクラ）といった、サクラにより近い仲間の樹木です。これらの樹木の中で、国内においてクビアカツヤカミキリによる被害本数が一番多いのはソメイヨシノですが、この虫が一番食い荒らしやすいはモモ類（モモ、ハナモモ）のようです。



サクラ



モモ



クビアカツヤ
カミキリって
どんな虫？

もともとは日本にいなかったカミキリムシで、2011年に、はじめて日本への侵入が埼玉県で確認されました。成虫はつやのある黒い体に胸だけあざやかな赤色の姿でとても目立ち、木にいるこの虫を初めて見た人はぎょっとすることでしょう。成虫は6～7月に木から出てきて活動します。この虫の幼虫は、サクラ、モモ、ウメなどのバラ科樹木の幹の中を食い荒らし、放っておくと終いには木を枯らしてしまいます。2021年の時点で、群馬県、栃木県、埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、奈良県、和歌山県、徳島県の12都府県でこの虫による被害がみつかっています。

これが
クビアカツヤ
カミキリだ

成虫



つかまえると
臭い液を出す

つやつやボディ

胸だけ真っ赤

幼虫



木の皮の内側を猛烈な勢いで
食い進む

十分に大きくなると木の材の部分に入る

探して！
クビアカツヤ
カミキリ

外来種対策は早く見つけて早く駆除することが一番です。不幸中の幸いに、クビアカツヤカミキリは自分の居場所を人に教えてくれます。その手がかりは「フラス」と呼ばれる虫のフンと木くずが混ざったものです。このカミキリムシの幼虫は、木の幹に排糞孔という穴をあけて、そこにフラスを木の中から押し出すのです。幼虫は5月から9月に盛んにフラスを木の外へ出すので、その時期にフラスが出ている木を探してみてください。サクラやモモなどの幹にある数ミリの円形の穴からフラスが出たら、中にクビアカツヤカミキリがいることを疑います。ただ、日本にもとからいる虫でもフラスを出すものがあります。クビアカツヤカミキリのもよりも黒っぽくコロコロとしたフンが目立つコスカシバ、ささくれた木くずをふくむ在来種のコスカシバ、また、樹上で暮らすアリも蟻道という木くずの道を作ります。

フラスが地際に大量に積もっていたら、間違いなくクビアカツヤカミキリがいます。その木が被害にあっ

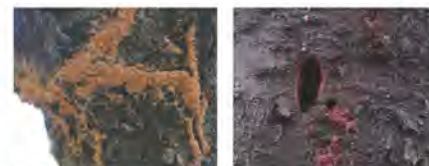


クビアカツヤカミキリ：穴から連なって出てくる／明るいオレンジ色／木くずはまるみがある／夏から秋には大量のフラスが地際に溜まることもある



コスカシバ：コロコロしたフンが目立つ／少量のフラスを、木のこぶなどの部分から出す／色はクビアカツヤカミキリよりも黒い

ゴマダラカミキリ：色はクビアカツヤカミキリに似るが、木くずがささくれている



蟻道：通り道を守るように筋状に広がる／樹皮上にへばりついている／中によくアリが歩いている

クビアカツヤカミキリの脱出孔

ていることに気づいたのはあなたがはじめてのようだったら（防除実施中の掲示とか、網を掛けて飛散防止措置がされていなかったら）、自治体の環境を扱う部署または緑地、農地を扱う部署に連絡してください。自治体の他、環境省地方環境事務所でも報告や相談を受けつけています。

お近くにこんな木はありませんか？

6～7月には木の外に出てきます



オス成虫



メス成虫



幼虫
中にいるのはこれ

サクラ、モモ、ウメから写真のような木くずが出ていませんか？
これは木を枯らしてしまう外来種が中にいるサインです。虫のフンと木くずが混ざったもので、フラスと言います。
10年ほど前に初めて国内で見つかった外来種であるクビアカツヤカミキリが、本州、四国の各地でサクラやモモなどの木の幹を食い荒らしています。
新しい場所にこの虫が入ってしまったら、増えてしまう前に見つけないと大変なことになります。力を合わせて身近な木を見守り、早期発見してひろがるのを防ぎましょう。

もうひろげない！ クビアカツヤカミキリ

並木、公園、庭、農地でフラスや成虫を見かけたら、自治体の環境を扱う部署
または緑地、農地を扱う部署にご一報ください。
自治体の他、環境省地方環境事務所でも相談・報告を受けつけています。

注意：クビアカツヤカミキリは特定外来生物です。無許可で生きたまま持ち運ぶのは違法です。



クビアカツヤカミキリコンソーシアム
代表機関 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所



がい らい
外来カミキリムシから
はな さ はる まも
花咲く春を護る



このポスター展示の
特設ホームページのご案内

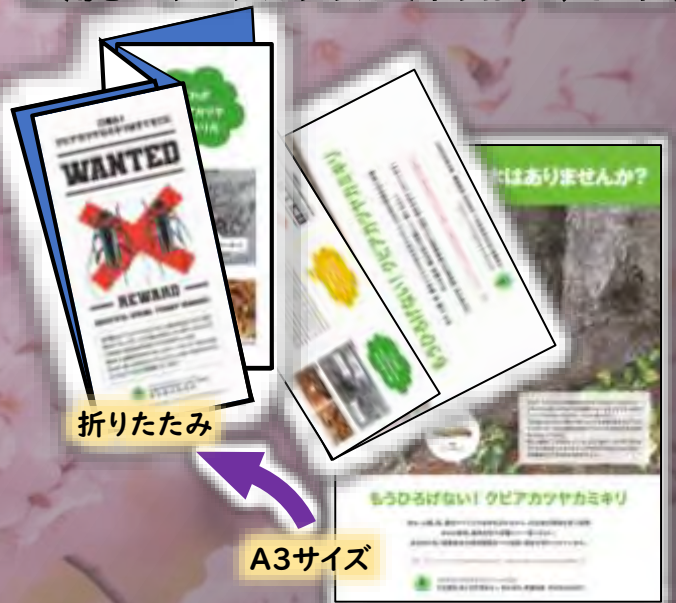
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/fsm/research/event/2023/20230608-0725exhibition-kubiaka.html>

プロジェクト研究成果集
「クビアカツヤカミキリの防除法」



研究成果をまとめた冊子を
PDFファイルとして、
ダウンロードして頂けます。

リーフレット（A3サイズ、六つ折）
「ご用心！クビアカツヤカミキリはすぐそこに」



リーフレットを、
PDFファイルとして、
ダウンロードして頂けます。

がいらい 外来カミキリムシから はなさはるまも 花咲く春を護る



森林総合研究所関西支所
特設ホームページ

お花見は日本人にとって欠かせない春の風物詩です。でもそのお花見ができなくなるかもしれません。外来のカミキリムシ「クビアカツヤカミキリ」が日本で急速に増殖し、サクラの仲間をつぎつぎと枯らしているからです。

今回の「消費者の部屋」展示では、日本国内での被害発生状況、サクラの樹を護る方法など、研究成果の最前線をパネルとパンフレットで紹介し、今私たちにできることを皆様と考えたいと思います。

展示期間

令和5年6月8日(木)～7月25日(火) 8時30分～17時
(土・日、祝日を除く。初日は13時から、最終日は正午まで。)

展示場所

近畿農政局1階「消費者の部屋」展示コーナー
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
地下鉄「丸太町」駅下車徒歩約15分(京都府庁西隣り)

◆お問合せ先◆

- ・近畿農政局 消費・安全部 消費生活課「消費者の部屋」
担当者：前田、高磯、田中 電話：075-414-9771
- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所関西支所 地域連携推進室
担当者：大谷 電話：075-611-1201

農林水産省
近畿農政局

樹皮下の幼虫が排出した
フラス(木屑半食)



